地域の自然を通じて学んでみよう！

こども国連環 境会議から

環 境を学ぶフィールドは、みなさんが住んでいる地域にもたくさんあるはずです。身近な環 境を知り、それを未来へ大切に受け継いでいくことがひいては地球環 境保全にも役立ちます。

水俣では2002年に『こども国連環 境会議九州大会』を開催し、身近な水の環 境を考える」をテーマに環 境について学んでもらいました。

こどもたちは、川の上流、中流、下流、そして海に分かれて水の大切さを学ぶ「フィールドワーク」に参加し、下の宣言文をつくり、学んだことを確認しあいました。

【ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ；川の生物調査 】

『地球の環境を守るこども宣言』

わたしたちは、環 境を守りこれを次の世代へと引き継いでいくため、「こども国連環 境会議九州大会」を環 境モデル都市水俣で開催し、『身近な水の環 境を考える』をテーマに３日間学びました。

地球規模の環 境問題が問われている今、まず、わたしたちにできることは身近な環境を守ること、わたしたちの生活や自然の生態系に最も関係の深い水をきれいに循 環させることが、大切なことだと知りました。

また、一度壊された環 境を元に戻すのには多くの年月と莫大なお金が必要になり、そこには多くの犠牲者の苦しみがあったことを水俣の経験から知ることができました。

このように学んだことをわたしたち一人ひとりが周りの環 境に活かしていくことで、ひいては地球の環 境を守ることにもつながると思います。

これからわたしたちは、この会議で学んだ多くの貴重な経験をより多くの人たちに伝えるため、参加者一人ひとりがエコリーダーの一員として、努力することを宣言します。

一人ひとりの
小さな行いから、
地球環境を守ろう！

こども国連環 境会議九州大会 in Minamata 2002